

ちば通研だより No.507

千葉県手話通訳問題研究会 (発行責任者) 米田 市子 (編集者) 渡辺 正夫
住所：〒260-0022 千葉市中央区神明町 204-12 千葉聴覚障害者センター内
FAX：043-247-1201 E-Mail：syuwa@nifty.com URL：<http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

第 58 回全国手話通訳問題研究集会 ～サマーフォーラム in きょうと～

「人権の世紀」と呼ばれる 21 世紀の四半期が過ぎましたが、世界では戦争が続けられています。戦後 80 年を迎える今年は改めて「平和」や「人権」の尊さを考えてみる時期でもあります。

また今年の 11 月には、「東京 2025 デフリンピック」が日本で開催され、世界中からデフアスリートや役員など大勢の皆さまをお迎えすることになります。

このような中、鹿児島に続き京都でも対面での夏の集会在開催されます。

京都の実行委員会では、ろう教育の発祥の地である京都での特色を活かした集会上していこうと努力しています。記念講演、4 つの講座、6 つの分科会を設定して、皆さまをころから歓迎すべく準備を進めています。現地で大勢の人と会って手話で話をすることが待ち遠しいです。今回、京都集会の申込方法が従来とは異なり個人での申し込みとなりました。充分留意して参加していただくようお願い申し上げます。

サマーフォーラム in きょうと

日 時：2025 年 8 月 8 日(金)～10 日(日)

会 場：京都テルサ

申込締切：2025 年 6 月 20 日(金)

申 込 先：参加者本人が直接申込をしてください。

集会申込サイト <https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/syuwatsuyaku/>



申込 QR コード

5 月 26 日時点でのちば通研の会員数は 297 人
(読者会員会員数は 11 人)
2025 年度の目標数は 350 人です
数はカ！ みんなで会員を増やしましょう～



しゅわりん

代議員会報告

考え、話し合い、言葉を尽くし、協力し合うこと

昭和の中学校の学級目標のようなタイトルになってしまいましたが、代議員会の報告、感想です。細かな議事・議論の内容については、会報が出ますので、是非どんな話し合いが行われたのかしっかりと読みいただければと思います。議案については全て承認されました事をご報告いたします。出席者125名／代議員数129名。ちば通研からは、本部渡辺理事、石鍋副会長、阿部副会長、折原事務局長、野島組織部長の5名が参加しました。



<定款（ていかん）改正・・公明正大な組織であるために>

定款改正により代議員会に議決権のあった「各事業年度の事業計画及び収支予算」が理事会権限に委譲されます。代議員会は5月下旬に開催されるため、4月からの2か月間弱は事業や予算は承認されていない状態で活動、執行がされてきました。時代の変化とともに一般社団法人として法律に則った運営をするための改正となります。

理事は各ブロックから推薦されて選出されていますので、私たち会員の思いとかけ離れた理事会決定がなされる心配は皆無ではありませんが、それはあり得ません。

10月にブロック会議を開催することで、関東の仲間とともに議論をし、理事会へ意見を届けることとなります。

<追悼・・橋本副会長（兼財務管理部長）を偲び、お人柄から学ぶ>

一昨年、ちば通研で会計業務の見直しをする際にオンラインでたくさんのアドバイスをいただきました。もとは農学がご専門。グルメで博識でいらしたことを追悼・感謝状贈呈の言葉で知りました。全通研法人化のために畑違いの簿記を学び資格を取得。法人決算の勉強をされて、まさに全通研の新たな歩みを支えた方です。

<雇用された手話通訳者の労働と健康に関する調査研究>

1990年の第1回調査以降、5年に1度の実態調査が行われ、今年の8月頃に、第8回の実態調査が行われます。個人情報等の関係で調査が難しくなり、回収率が7割まで下がったこともあるそうです。電話リレーや遠隔の通訳者等も対象になり、また民間企業に雇用されている通訳者には訪問調査も行うとのこと。健康を守り、よりよい手話通訳制度実現のために、ぜひ周知、回答にご協力ください。

<組織のスリム化・・全通研が、ちば通研が何を大事にする組織かを考える>

他支部の方々の意見を聞き、言葉を交わすと、いかに自分が日々の事務作業や行事の準備に追われ、考えることをしていないか、仲間を知るための話し合いをしていないか、自分の意見を伝えるために言葉を尽くす努力をしていないかを反省させられます。限られた人材と時間の中で、運動体であり、研究団体である私たちがやるべきことをするために、事業の見直し、組織のスリム化は本部同様に避けては通れません。このための議論をちば通研のみんなですきたら良いと思います。議論を尽くして、その後はできることを協力しあえるちば通研でありたい。変化する社会の中で大事なことを見失わないために話をしましょう。サマーフォーラム京都もお忘れなく。

（代議員 事務局長 折原由紀子）

代議員会ブロック別会議（関東） 報告

4月27日（日）、13時から16時30分まで横浜市健康福祉総合センター8階（神奈川県横浜市桜木町）において、関東ブロックの支部から代議員25人とオブザーバー4人、本部2人の合計31人の参加の下、ブロック別会議が行われました。

ちば通研からは、本部渡辺理事、石鍋副会長、折原事務局長、副会長の阿部と、オブザーバーとして高橋前副会長が会計報告のため出席しました。

この会議の趣旨は、5月24日（土）、25日（日）の2日間にわたって兵庫県神戸市にて開催される代議員会（ちば通研からは4人が出席予定）に向けての準備であり、本部の岡田聡理事から、2025年度代議員会議案書の第1号議案から第7号議案までの説明を受けて、各支部代表者が集い議論しました。

関東圏域の各支部の活動状況の報告や、それぞれが持ち寄った質問等（各種情報のデータ化・会員拡大・経費削減等）が大きなホワイトボード上に隙間なく書き出されました。質問の重複や、どの議案に対する質問なのかを確認し整理して、代議員会当日に発表する支部を分担して、会議を終了しました。

私は副会長に就任して初めての関東圏域の会議出席でしたが、錚々たるメンバーに圧倒されたのと、どの質問をみても『全通研をより良くしていこう』という思いが詰まった内容であることにひとり感激していました。このような議論の場に参加させていただけることをとてもありがたく感じた次第です。

（副会長 阿部 恵子）

関東通研定期総会・支部代表者連絡会議 報告

5月10日（土）13時15分より、午前中の関東通研の総会に引き続いて、支部代表者連絡会議が開催されました。本部3人、各支部から22人、計25人が出席しました。

ちば通研は、新代表者として阿部、旧代表者高橋前副会長、本部渡辺理事、オブザーバーとして米田会長、折原事務局長が出席しました。

2025年度の秋の関東通研討論集会はデフリンピックが開催されるため、中止です。その他には、関東ろう連との合同会議報告と新たな合同企画の日程について、また、担当者会議の内容や各支部からの活動報告が行われました。

今回話し合われた議題は、以下のとおりです。

- 1 2025年度の事業について
- 2 全国手話研修センター運営委員について
- 3 関東ろう連との合同会議について
- 4 各種報告について
- 5 関東ろう連との合同企画について
- 6 特別会計の使い方について
- 7 関東通研学習会について
- 8 各支部からの活動報告について

新代表となりちば通研として関東通研での役割は、「会計」担当から「災害」担当となりました。災害救援中央本部の委員も担当することになりました。年2回程度の会議出席と、年1回の中央交渉に帯同することと伺っています。分からないことが多すぎて緊張していますが、いろいろな情報を持ち帰ることができるように頑張っています。

（副会長 阿部 恵子）

「福祉の現場を経験して しろろが語る！」 Vol. 3

1. 船橋市の手話サークル時代

中3の卒業間際に鹿児島から上京し学生時代は船橋市に住んでいました。大学卒業後間もなくたまたま「さざんかの会」の立ち上げに関わったのが手話との出会いでした(21才)。私は手話サークルに通う少し年下の女性に思いを寄せるようになりました。当時市役所は、知的障害者の手帳(療育手帳)所持者を名簿で公表していて私はその中に彼女の名前を見つけて大変なショックを覚え、以後あまり口をきけなくなりました。同時に「なぜこんなことが社会でまかり通るのか」と衝撃を受けました。それは私の中での初めての権利意識の芽生えでした。

2. まるでドラマ・県庁での再会

現在私の中心業務は成年後見ですが、生活保護のケースワーカー時代に学んだことがその後の私の半世紀にわたる福祉関連業務のベースとなっています。生活保護は国民の最後のセーフティネットで「他法・他施策優先活用の原則」により他の福祉六法等さまざまな周辺領域の資源や制度の仕組みが頭に入っていないと成り立たない仕事です。現在の後見業務は若かった頃のケースワーカー業務と類似しています。ただ当節の行政のケースワーカーは現場に積極的に足を運ぶことをしないので、そのしわ寄せを私たち後見人等がかかる側面も多いです。一言で言えばまず情熱(ハートの熱さ)の違い。私たちの時代は「公的扶助研究会(公扶研)」という生保ケースワーカーで組織する全国組織が全盛期で、ケースワーカーが実践報告をしたり、全国研修を開催したり、国に提言したり、仕事以外の場面でさまざまな活動に明け暮れる毎日でした。私もまだ若かったので、使命感から研究会や支部の会合にも参加し、アル中当事者の集まりや被保護世帯の児童に夜間勉強を教えたりもしました。

「ケースに学ぶ」ことを忘れた福祉行政

この話しには後日談があります。私が県庁の健康福祉指導課に在籍(平成12~平成14年)していた時のことです。昔私が担当していた被保護世帯の中に父子のひとり親とおばあちゃんから成る世帯がありました。父親はアルコール依存症(無職)で通院治療中。子どもは小学校低学年の男児。両親は既に離婚して児童の日常のお世話や家事は同居のおばあちゃんが担っておられました。それから十何年の月日が流れた県庁の人事異動の季節のこと。恒例の歓送迎会の宴席で、若い男性職員が私の隣に座り「黒岩さんご無沙汰してます。〇〇です」と話しかけてきたんです。私は「え!どこかで会った?」と聞くと「ほら昔お世話になった〇〇ですよ」と言うのです。そういえば顔つきが当時のお父さんの顔とそっくり。彼は私のことをずっと覚えていてくれたようで「自分も将来黒岩さんのような仕事をしたいと県職員を志しました」と言うのです。「みんなの前でそんな話していいの?」と聞いたら「いいんですよ。事実なんだから」の返事。私は人生の中でこの時ほど驚いたことはありませんでした。

+++++

最近のケースワーカーは家庭訪問をあまりしません。コロナ禍以降その傾向は加速した気がします。それをチェックする内部体制もない。私の時代はケースワーカー辺倒の時代でしたが今やこの言葉は死語となりつつあり、代わってケアマネジメントが主流の時代となりました。

「ケアマネジメント」の手法も、課題分析から本人の望む暮らしを聞き取りつつ共同でゴールを設定しサービスのプランニングをする一連の相談支援の手法ですが、どちらかという公の責任と離れた視点(民間が主導して行う)での比較的新しい考え方なんです。



医療班コーナー

便秘とは

便秘は、どの年齢層でもみられる排便の悩みのひとつで、一般的には女性に多く、60歳以上で増える傾向があると言われています。

「便秘」のとらえ方は個人差がありますが、医師が定義する「便秘症」も専門学会ごとに様々な定義があります。

- ・3日以上排便がなく、毎日排便があっても残便感がある
- ・排便回数が少ない、排便困難、あるいは両方を特徴とする快適でない排便状態が3ヶ月以上持続するなど

便秘に悩む人は、自分のパターンを把握して、原因を取り除くようにしましょう。

ダイエット系の便秘 食事を制限することで食物繊維などが不足し、便の材料が少ないため便秘になる。

弛緩性便秘 大腸の筋力が低下して便を肛門方向へと押し出す腸管運動が弱い。便意があってもトイレに行くものの、すっきり出た感じがしないタイプ。運動不足の人や高齢者に多い。

直腸性便秘 生活習慣がもとで直腸部分（大腸のうち、肛門に最も近い部分）の働きが鈍く、排泄に必要な運動が弱い。朝に便意があっても時間がないからと我慢したり、外出先で周りが気になってできない人がなりやすい。

けいれん性便秘 ストレスが原因で自律神経が乱されて、腸管運動が強くなり過ぎ、腸の所々にくびれができて便が押し出せない。便秘と下痢を繰り返すこともある。

従来の慢性便秘症の診療は、排便回数や便の硬さなどに注目しがちでしたが、便秘症状は多彩で、人によって悩んでいる症状も異なります。

特に排便困難、残便感などの症状は、高齢者や認知症患者では上手く訴えることができないため見過ごされてしまう傾向にあります。

その結果、直腸内の糞便塞栓（宿便）が形成され、それによって直腸潰瘍（宿便性潰瘍）や消化管穿孔が生じることもあります。

また、認知症患者では、便秘が焦燥などのBPSD（認知症周辺症状）の原因になることもあり、器質的な疾患が合併しなくても注意が必要です。

食物の消化から排便までは24時間が目安。良好な腸内環境なら排便は毎日。

- ・食物繊維をよく摂る
- ・自分にあったヨーグルトや乳酸菌飲料を摂る
- ・ウォーキングなどで便を「出す」筋肉をつける などお試しください。

参考

（日本消化管学会 便通異常症診療ガイドライン 2023 慢性便秘症）国際基準準拠

～TMG～



TMG（楽しく（T）未来社会（M）学習班（G））のページ

こんにちは、早速ですが2025年度のTMGは去年川根紀夫さんに講演して貰った「通訳現場で見つけた問題の解決方法」のレジュメを再度みんなで確認しながら内容を深めたいと思っています。

そのレジュメの目次たるや大きな章が・憲法は未来社会を描いている・なぜ、ろう者は困難な状況に置かれているのか・憲法を遵守する行政活動一つ「手話通訳」・手話通訳士・者の行う「手話言語通訳」とはなんだろう・通訳事例から考える、これだけでも中身が知りたいでしょう。（ちば通研ホームページ会員ページに掲載されています）ぜひ見てみてください!! 全部で32ページの?! もうこれはレジュメではなく1冊の本です!

手話通訳は1つの行為です。しかし行為は行為でしかなくその行為には目的が伴います。その目的意識なく行われる行為は単なる自己満足でしかありません。全通研の（ちば通研の）すごいところは、その行為に連帯を持って共に同じ目的へと誘ってくれるところです。

共に学習しましょう! 一人ひとりが尊重され、同じ人として同じ環境で暮らせる社会を目指して。

TMGは今年オンラインで学習会を行います。オンラインなのでふらっと立ち寄ることは出来ませんが興味のある方は（ノートパソコンが手軽です）以下URLへ（秘密ですよ）<https://meet.jit.si/chiba2tmg>

デフリンピックが11月に開催（その3）

東京都が募集したデフリンピックのボランティアの抽選結果が3月19日に発表され3,500人が当選しました。ちば通研会員では、4の方が当選されました。（会員で当選された方は広報部に一報を）ちば通研だよりには、この方々の生の活動で感じたことなどを皆さまにお知らせしていきたいと考えております。

ボランティアの主な活動内容は、誘導・案内、プレス対応の補助、会場内の飲食補充、表彰状の印刷サポート、手荷物検査のサポートなどとなっています。

今後の活動予定は、下記のとおりです。

日 程	内 容
5月～6月頃	活動いただく会場・活動日程等の御連絡
6月～10月頃	共通研修、手話言語研修・ろう者の文化等理解研修の受講（オンライン）
8月～9月頃	役割・シフト（詳細な活動時間）等のご連絡
10月～11月頃	配置・役割別研修の受講（オンライン）
11月10日～28日	東京2025デフリンピック本番時の活動

このボランティアの運営は、大会運営組織である（公財）東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部が担当します。

私のイチオシ

…かずさ班…



誌友の皆様。

I S Sをご存じでしょうか。国際宇宙ステーション **International Space Station** の略です。**I S S**は、地球の上空約400キロに浮かんでいる作業船、居住可能な人口衛星です。秒速約7.7キロメートル(時速約28,000キロメートル)で飛行、地球を約90分で1周、1日で約16周します。6名の宇宙飛行士が滞在しています。地球上から肉眼で見ることが出来ます。

関係国は、アメリカ、ロシア、カナダ、日本、欧州宇宙機関加盟国(ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス)及びブラジル(アメリカとの協力枠組みとして参加とみなすこともある。)で、国際協力と平和のシンボルとしても重要視されています。

1998年に建設が開始され2011年に完成しました。宇宙環境での実験や研究を長期にわたり行うことにより科学技術の進歩や地上の生活・産業への貢献を目指しています。

宇宙兄弟という漫画がありまして。

以前、職場近くでランチに入ったお店で、偶然手に取り、続きが気になり、通い詰めたことがありました。が、お店の営業日が木金土日だったため、週2日木金で通っていたところ、転勤が決まって、慌てて斜め読みをしました。が、コンプリートはできなかったのです。後になって、当時はまだ連載中だったことを知ったのですが……。その時は、仕事の引継ぎよりも、続きが気になって後ろ髪ひかれる思いでおりました。



宇宙兄弟の舞台は2025年。自分たちが訓練を終えて宇宙に行くころには**I S S**は老朽化しているだろう、という場面がありました。その場面の2025年になった現在、**I S S**は、2030年に運用を終えて、太平洋に落とす計画とされています。

スマホやパソコン等々、兎角うつむきがちになることの多い生活です。空を見上げて、**I S S**を見てみてください。上空で、すうっと流れるように動いていきます。ほんの数分ですが吸い込まれるように、喧噪とは別世界に浸ることができるような気がします。昼間は見えません。天候にも左右されます。機会は多くはありません。見る事ができるのはあと5年。みなさまも是非。(HF)

地域班通信

富里班：今年は奉仕員養成講座（前期）が富里市で開講されます。3市町広域という括りで、富里市・八街市・酒々井町の受講生が集まってきます。読み取れるまで繰り返し手話表現をお願いしていたなあ・・・と当時を思い出しました。過去形で書きましたが、考えてみると行く先々で現在進行形です。交流を通じて少しずつ成長していきたい！（YK）

市原班：重度知的障害を持った長女みきさんを育てながら数々の映画作成をした山田火砂子監督の映画「わたしのかあさん一天使の詩一」を鑑賞し、感動冷めやらぬまま監督の著書「トマトが咲いた」を場内で購入しました。長女みきさんとの日々とともに知的障害を持った子供たちの純真無垢で天使のような清らかさに心洗われる本でした。（IT）

船橋班：デフファミリーの聴こえない4才の孫と5月5日にふなばしアンデルセン公園へ。去年は自分の言いたい事が上手く伝えられず大愚図りで泣いていたけど、今日は手話でたくさん喋ってきてびっくり！言いたい事をお互いに手話で伝え合える事の大切さを感じる1日でした。（K）

かずさ班：今年3月、友人と全日本ろうあ連盟結成の地、伊香保に行ってきました。「いつか行きたい」と言っていたのがやっと実現。「段また段を成して」のDVDを時々見ていたので、色々な場面や人々の表情が思い出され、グッと来るものがありました。記念碑に刻まれた「手話はいのち」に言葉の力を実感。友人との他愛のない会話は相変わらず楽しく、意義ある小旅行でした。ありがとう、これからもよろしくね。（NT）

印西班：生前父が植えた庭木の一つに松の木があり、それは父が一番大事にしていた木でもありました。手入れが難しいためか、私がやりだすと必ず見つけて何か言ってきた父。その時はうるさいと思っていたはずの声ですが、今では懐かしくその声を思い出しながら趣味の一つである庭木選定を楽しんでいます。

習志野班：ここ最近の1日の寒暖差に体調がついていかず、体調を整える事に悪戦苦闘しております。ゴールデンウィークは雷を伴う雨もあり衣替えがやっと終わりました。みなさんはいかがお過ごしでしたか？私は人混みを避け自宅でリモートで学習しております。コロナ前には考えもしなかった学習方法に時代の移り変わりを感じております。2025年度はどんな風になるか楽しみです。



流山班：前回の原稿の締め切り後に受けた訃報。このところ、お世話になった方や一緒に活動させていただいた方が、遠くに行ってしまうている。ちょっと距離もあったので、ご一緒する機会は多くなかったけれど、丈子さん、ちょっと怖かったけれど、素敵な方でした。ゆっくりお休みください。合掌(emiko)

わかしお班：江副悟史氏の講演会に参加しました。多方面でご活躍の江副氏にお会いしての第一印象は 若い!! 明るく話上手でどんどん話に惹き込まれました。映画やドラマの手話監修をされた話で、俳優さんたちに自然に、リアルを丁寧に指導されることに、感心しました。また、エピソードが面白く、会場は笑いの渦に包まれました。楽しい講演会でした。(NO)

六つ星班：毎日、散歩を始めた。今更ながら近所の自然に気付く。えっ? これってふきのとうだ。わらびとふきがどっさり生えてる。食べ方がわからずネットで調べてあく抜きをがんばる。あやめとしょうぶの違いに悩み、うらしまそうとマムシグサって似てるけど違うんだとふむふむ。勉強になるなあ。健康と一緒にいろんな知識が増えていく今日この頃。

市川班：市川大野町にある「ありのみブルワリー」のイベントと下総中山にある「房総ジビエ」に行き、地ビールとジビエ料理を堪能しました。クラフトビールの種類は8種類。市川市に本格的なビール工場があるのに驚きました。製品は道の駅いちかわ等で購入可能です。ジビエはさすがに鴉は注文しませんでした。猪、鹿、キョン、アライグマいずれも特に臭みもなく美味しかったです。「ありのみブルワリー」のイベントは次回9月に開催予定とのこと。お近くに来られた際はぜひお立ち寄りください。

海匠地域班：5月18日は「新芽まつり」です。聞こえない人、聞こえにくい人、聞こえる人、みなさんが手話を使って、あちらこちらで会話が見られます。笑顔で、力強くて、私の好きなシーンで、見ていて元気になります。お菓子や野菜の販売、キッチンカーも楽しみです。毎回探しているキーケース、今年は、買えるかな。

八千代班：ネット通販をよく利用する。不覚にも定期購入詐欺(?)にひっかかってしまった。2回目が送られてきて初めて定期購入契約に気付いたほど、巧妙だった。消費生活センターに駆け込み相談員さんに経緯を説明すると、その場で販売会社に電話。法律を持ち出すわけでも詐欺を指摘するでもなく、丁寧な口調で「返品と違約金なしの解約」を取り付けてくれた。消費者にとって、心強い組織が身近にあることを初めて知った。ブラボー♡

白井班：GW も明けて少しずつ暑い日が増えて来ました。暑さと湿度が苦手な私にとって憂鬱な季節がやって来ますが、もう一つ嫌なのが“蚊”です！蚊は25～30℃くらいが活動活発な温度帯なのだそうです。そして黒っぽい服に集まる習性があるそうで、普段から黒・紺等濃い色の服を着ることが多い私は蚊を呼び寄せているのかも？

千葉市班：近所の高齢ご夫婦に、スマホでの万博のチケット申し込み方法を教えて欲しいと頼まれた。自分のスマホで検索しながら、ID登録から2日分のチケット購入までお教えすること1時間弱・・・できた～！この手のことは私も娘たちに頼りきり。なのに、さすが若い人はすごいなあとおだてられ、後には引けず。良かったあ～。

八街班：我が家には16歳5か月のお婆さん犬がいます。人間でいえば80歳ですが、毎日ご飯は完食し、散歩は朝晩2キロずつ歩きます。仕事に出かける時「行ってらっしゃい」と見送り、帰宅したら「おかえり」とお出迎え。気がつくといつも側にいる大事な家族です。まだまだ元気でいて欲しいです。

成田班：最近デフリンピックに関するニュースを見る機会が増えたように感じるのは、私たちが手話関係者だから？一般の人はまだまだ知らない人が多い。「都営線の駅にはデフリンピックのポスターがあちらこちらに張ってあるのよ」と同僚から聞いて東京都との差を痛感。目からの情報、地方でできる「ポスター大作戦」できればいいですね。

鎌ヶ谷班：有明にある防災体験学習施設「そなエリア東京」に地元手話サークルの研修で見学に行きました。灯りのない暗いエレベーターに乗り、扉が開いたら地震直後の被災した現場が目の前に広がる。支援が届かない時間を生き抜く力の大切さをこの体験から学びました。(FM)

ちば通研のホームページをご覧の皆さんへ お知らせです

地域班会議の次の日の6月2日（月）からホームページの会員専用ページのパスワードが変更されます。

変更するパスワードは、今回会員の皆さまに送付した研究誌第172号などが入った茶封筒の宛名シールに書かれています。ご確認ください。

また、ちば通研ではちば通研だよりの「データ配信」を行っています。

希望される会員の方は、会員専用ページ「情報」の2025年4月1日にある「募集チラシ」を開いてください。その中にあるQRコードを読み込んで各自でお申し込みください。現在100人ほどの協力者がいます。郵送料削減のため、ご協力の程よろしく申し上げます。

役員短報

日時：4月26日（土） 9:30-12:00

会場：オンライン

参加者：14人

<主な議題>

○三役

- ・5月18日 新芽まつりの出店について
書籍・缶バッジ・キーホルダー
海苔の佃煮他
- ・当日までの準備と役割分担について
- ・後援会総会への協力について

○広報部

- ・6月号掲載記事の確認
- ・今年はデフリンピックを取り上げる。

○組織部

- ・会員拡大 245人（4月22日現在）
- ・総会 参加者（委任状含）255人
- ・ちば通研講座 参加者114人
PPTの投影が手間取り迷惑をかけた。
- ・地区講座について
東総地区 佐倉班
6月29日 13時から
佐倉市西部地域福祉センター
- ・地域班学習会
成田班 6月22日 14時から
成田市中央公民館

○研究部

- ・研究部会議に石鍋副会長が加わる

<部・班の報告>

○三役から

- ・4月1日 3団体会議報告について
- 1 7月5日 千葉聴覚障害者センター
東京デフリンピックホタルイベント
本部委員会・拡大委員会を予定
- 2 7月19日 13時15分から
東京デフリンピック関東一斉応援120
イベント 関東1都7県の県協会が各
地で応援イベントを開催し、オンライ
ンでエール交換を交わし合う。

3 デフリンピックグッズ販売について
ピンバッジ、紙クリップ、ポロシャツ

4 全国ろうあ者大会 in 岩手について
6月12日から15日 会場 盛岡市内
2027年千葉で開催するにあたり、視察
団の協力依頼あり

5 なるほど研修会 7月20日センター
教育フォーラム 労働フォーラム予定

6 サマーフォーラム in きょうと
8月8日から10日 早めにホテル確保

○医療班

- ・六つ星班より2か月に1回医療班の
出前講座希望について検討する。

○保育・子育て班学習会

- ・5月24日（土）15時から17時
松戸市ふれあい22 終了後交流会

○後援会

- ・東総地区の後援会推薦理事について
- ・定期総会の議長について協力依頼

○関東手話通訳問題研究会

- ・5月10日（土）越谷市市民会館
10時から 関東通研総会
13時から 支部代表者連絡会議

○次回役員会

- 6月1日（日）13時から
午前中は地域班会議（対面）
千葉市中央区蘇我コミュニティーセン
ターハーモニープラザ分館

今後の予定

○6月1日（日） 地域班会議・役員会
N-Action ちば学習会

○6月12日（木）～15日（日）
全国ろうあ者大会
（岩手）

○6月14日（土） 健康対策班学習会

○6月21日（土） 組織部会議

○6月24日（火） 広報部会議

○6月27日（金） サポーターズ印刷日

○6月29日（日） 医療班学習会

○6月30日（月） 千葉聾学校公開授業

お知らせ

○ちば通研ホームページにアクセス
アドレスは以下のとおりです。

<http://syuwa-chiba.la.cocacn.jp>

QRコードでホームページに
アクセスできます。

会員専用ページは
パスワードが必要です。



○ちば通研へのお問い合わせ

ちば通研への連絡は下記のアドレスへ。

E-Mail: syuwa@nifty.com

○原稿募集

原稿掲載にあたり、150字程度でお名前は本名
もしくはニックネームを明記。

次号の原稿締切は6月15日(日)です。

E-Mail: c-koho@c2ken.sakura.ne.jp

FAX: 043-247-1201(早朝・深夜は不可)

会費の納入のお願い

2025年度の会費納入をお願いしています。

会費は振込にてお願いいたします。振込先は以下の
とおりです。なお、申し訳ありませんが振込手数料は
ご負担ください。複数人まとめての納入は、全員の名
前をご記入ください。

○年会費

会費 10,000円

読者会員 6,500円(聴覚障害者のみ)

○郵便振込先

口座番号: 00120-4-708239

加入者名: 千葉県手話通訳問題研究会

※ゆうちょダイレクトで振込の場合は、月5回まで
無料です。

けいわん 110 番

＜医療的な相談窓口＞

滋賀医科大学社会医学講座(衛生学)

TEL: 077-548-2187

FAX: 077-548-2189

＜仲間を守る取組みに関する相談窓口＞

FAX: 057-451-3281

*何かありましたら、いつでも、ちば通研健
康対策班に、ご相談ください。

FAX: 043-247-1201

○安否確認の報告はこちらへ

ちば通研では、2014年度から安否確認訓練
をしています。最近、災害はいつ起きてもお
かしくない状況です。そのため、会員の安否確
認をよりスムーズにするため、専用のフォーム
を開設しました。

災害の時は、自分から

アクセスして状況を

ちば通研に報告してください。

<https://forms.office.com/r/5bav1TCt53>



あ と が き

5月の花といえば、バラですね。近所の
バラ園で色とりどりに咲いているバラの
様子を毎日ベランダから眺めています。
花から季節を知り、今年も、もう5か月
が過去ってしまうのかと少々あせりを感じ
ています。バラの花言葉ですが色によ
って違うようです。黄色は「友情」「平和」
「思いやり」「感謝」などです。
皆様からの原稿に感謝しています。(IT)

6月15日まで大阪、奈良、京都の博物
館や美術館で同時開催されている展覧会
に行ってきました。今回展示されている
国宝の数は3館合わせて約260件。展示
替えがあるので全部を一度に見ることは
できませんでしたが、その美しさは目の
保養になりました。ちなみに現在、美術
工芸品の国宝は全部で912件、千葉県内
には4件あります。(K)